

川金HD、半導体軸足

製造装置 向け強化 車部品事業を縮小

【さいたま】川金ホールディングス（埼玉）は、子会社の特殊メタル（福島県相馬市）が2022年度中に自動車部品製造から撤退し、半導体製造装置部品向けに軸足を移す方針を明らかにした。電気自動車（EV）シフトで特殊メタルが手がけるエンジン向け部品の

【さいたま】川金ホールディングス（埼玉）は、子会社の特殊メタル（福島県相馬市）が2022年度中に自動車部品製造から撤退し、半導体製造装置部品向けに軸足を移す方針を明らかにした。電気自動車（EV）シフトで特殊メタルが手がけるエンジン向け部品の

半導体関連市場が活況なことに対応し、川金HDは特殊メタルの福島県内の工場に約10億円を投資し、老朽化した製造ラインの入れ替えを進めており、今夏に完了する見込み。特殊メタルは半導体向けだけでなく、EV向け部品にも照準を合わせる。特殊メタルが手がける鋳造製品を製造するアルミダイカスト法は軽量化に寄与し、引き合いがある。新事業の創出に向け、全社で提案活動を強化する方針だ。

需要が先細る中、ニーズが広がる半導体製造装置向けを強化する。川金HDは売上高の約1割を占め、エンジン関連の仕事が多い。「今後はEV向けや半導体製造装置向け部品など自動車以外の業態にも展開していく必要がある」（鈴木社長）という。林ロストワックスに達する見込み。

工業（新潟県柏崎市）など自動車向け部品製造を担う他子会社は製造を継続する。特殊メタルは従来、自動車部品などを製造してきたが、直近では真空ドライポンプといった半導体製造装置向けの需要が伸長。22年3月期の売上高は前期比約1.7倍の30億円に達する見込み。